

# こども教育会議 会議録

<p>日時 令和元年7月31日(水) 13:30~14:30</p>	<p>場所 武雄市役所 4階会議室</p>	<p>出席 小松市長 教育委員(一ノ瀬、副島、大庭、馬場、岡本、松尾、田中、大渡) 松尾こども教育部長、牟田こども教育部理事 教育総務課(諸岡課長、杉原課長代理)、こども未来課(弦巻課長、野田参事)、学校教育課(竹内課長、百合参事、諸岡室長)、生涯学習課(山北課長)、文化課長(野口課長) 古賀企画部長 企画政策課(松尾課長、中村係長、古川)</p>
<p>1. 協議件名</p>		<p>第21回こども教育会議 (「新教育大綱の発表」・子どもの体力向上とスポーツへの関心について)</p>

## 議事録

<p>内容</p>	<p><b>1 開会</b>(進行:古賀企画部長)</p> <p><b>2 議事</b>(議事進行:小松市長)</p> <p>(1) 新教育大綱について</p> <p>〈市長発言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新教育大綱については、引き続き、「組む」としたい。これからの4年間において、さらに「組む」を発展させ、組む相手を自由に変えながら、横の広がりの中身の深さを求めていきたい。</li> <li>「組む」を支える指針については、指針①「地域社会と人づくり」、指針②「こどもにやさしいまちづくり」、指針③「夢の実現と生き抜く力」、指針④「健康で充実した生活」の4つの指針としたい。指針①は、社会全体が互いに関わり、助け合うことで、思いやる心を養うことに繋がる。指針②は、こどもの貧困や、障がい児支援など、すべての子どもたちが環境に左右されることなく、安心して学べ、自身の夢を描くことに繋がる。指針③は、教育に関する様々なチャレンジ(英語教育や多文化共生など)を通して、子どもたちの生きる力を伸ばしていきたい。指針④は、スポーツや文化などを通して、こころもからだも健康に幸せに生きることを目標とする。</li> <li>教育大綱を通して、首長部局、教育委員会部局のみならず、市民が教育を考える際の北極星として、引き続き、捉えてもらいたい。</li> </ul> <p>(2) 子どもの体力向上とスポーツへの関心について</p> <p>②意見交換</p> <p>〈出席者の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツを含め、運動習慣は、遊びが基にあり、楽しさや興味関心が土台にないと繋がっていかないと感じる。物的環境(遊び場)と人的環境(例えば、大人が楽しく遊びながら運動できる姿を見て、一緒に運動する)が必要ではないか。</li> <li>幼少期から色々なスポーツにチャレンジでき、運動を親しむ機会が必要。</li> <li>社会体育は、運動の他に社会性や規律を学ぶことができるという良さがあるが、一方、スポーツを気軽に楽しんで仲間づくりができる場があってもいいのではないか。</li> <li>学校行事では、運動に関する行事が昔と比べると減ったように感じる。学校でも、多少なり、体を動かす機会が増えても良いのではと思う。</li> <li>体力づくりには、幼少期から規則正しい生活習慣が必要。</li> <li>時代の流れであるが、体力と学力を比べたときに、学力が落ちることは良しとされないが、体力が落ちるとしたときは、危機感がないように感じる。スポーツをする環境においても受動的であり、子ど</li> </ul>
-----------	--

もたちで考えて、運動する環境づくりが必要である。

<市長の発言>

- ・当課題については、今と昔の環境の変化が影響していると考える。今は、子どもたちの遊びや習い事、部活動など選択肢が増え、運動する子どもとしない子どもの差が表れている。環境の変化は変化として、受け入れつつ、現状の中で課題解決に一番良いものを選択する必要がある。
- ・大人が楽しくスポーツをしていないと、子どももスポーツに興味関心を持たないと思う。今後、スポーツ課や、福祉部と横断的に連携して、課題解決への検討を進めていきたい。

**3 閉会**（進行：古賀企画部長）